

単元名 夏をすずしくさわやかに

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 夏の快適な住まい方や、気持ちのよい衣服の着方と手入れに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができる。
- (2) 夏の衣生活、住生活について課題を見付け、その課題の解決を目指して、知識及び技能を活用して、自分なりに衣服の着方や住まい方を工夫することができる。
- (3) 自分の生活を見直し、夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて考え、工夫して快適な生活を送ろうとする。

標準的な展開例

06090103_001

【準備等】 いろいろな衣服の実物、品質表示のラベル、取り扱い表示のラベル、洗濯物、洗剤、洗いおけ、ハンガー、物干し台、実験用具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 夏の生活の特徴を考え、単元の学習課題をつかむ。</p> <p>★夏の生活を見つめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏の生活の特徴や工夫点を出し合い、自分の生活の問題点に気付く。 ○問題点を基に、解決すべき課題を設定し、学習の見通しをもつ。 <p>2～3 涼しくさわやかな住まい方を考える。</p> <p>★夏の住まい方を見直そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族に聞いた夏を涼しくさわやかに過ごす工夫を発表し合う。 ○気温、湿度、風通し、音についての実験をする。 ○家族に聞いた工夫や実験結果を基にして、夏を涼しくさわやかに過ごすための住まい方を考える。 <p>4 涼しくさわやかな着方について考える。</p> <p>★衣服の快適な着方を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな場面で着る衣服と着方の特徴を話し合う。 ○布の性質を比べる。 ○実験結果を基にして、夏を涼しくさわやかに過ごすための着方を考える。 <p>5 衣服の汚れと手入れの仕方を話し合い、実習計画を立てる。</p> <p>★衣服の手入れと片付けの工夫をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○衣服を気持ちよく、長く利用するためには、どんなことに気を付けるとよいか、家族が工夫していることを発表し合う。 ○洗濯の方法を調べ、実習計画を立てる。 <p>6～7 計画に従い、洗濯の実習をする。</p> <p>★手洗いで洗濯をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○衣服の取り扱い表示の見方について調べる。 ○洗濯の実習をし、反省する。 <p>8 学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>★実践発表会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実践発表会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 86「夏の住まいの工夫」のイラストや生活経験を基にする。 ・ 夏を涼しくさわやかに過ごす工夫を次時までに家庭で調べるよう伝える。 【評】自分の生活を見つめ、解決すべき課題を設定する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気温・湿度・風通し・音など視点を絞って涼しく過ごす工夫をまとめる。 ・ p. 88「調べよう」を参考にして実験を行う。 ・ 健康・快適の視点で、生活の問題を解決するための最適な方法を考えさせる。 【評】夏を涼しくさわやかに過ごすための住まい方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ p. 90の図3を参考にして、衣服のもつ保健衛生上・生活活動上の働きを理解できるようにする。 ・ p. 90の資料4を参考にして簡単な実験を行う ・ 快適・安全の視点で、衣服の形や布の種類なども考慮して考えさせるようにする。 【評】夏を涼しくさわやかに過ごすための着方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服の手入れと片付けの工夫を事前に家族にインタビューさせておく。 ・ 洗濯の必要性について、実験や観察を通して具体的に理解させ、洗濯実習への意欲を高め一人ずつ計画を立てさせるようにする。 【評】洗濯の実習計画を通して、「知識・技能」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の着ている衣服や、洗濯する予定の衣服で確かめさせる。 ・ 洗剤の働きには深入りせず、環境に配慮するという視点で使用量を考えさせるようにする ・ 手洗いを中心にし、洗濯機は脱水に利用する程度とする。 【評】洗濯の実習を通して、「知識・技能」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達同士で相互評価して、よいところを認め合うことができるようにする。 【評】実践発表会を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

○家庭で生かしたいと思うことを考える。

○単元の学習を振り返り，自己評価する。

【評】 実践発表会から自分の生活に生かそうとする活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】